



犬猫生活  
福祉財団

一般財団法人 犬猫生活福祉財団

〒162-0826

東京都新宿区市谷船河原町9-1

NBCアネックス市谷ビル6F

<https://inuneko-fukushi.or.jp/>

犬猫生活福祉財団

検索

2022

犬猫生活福祉財団  
活動報告書

INUNEKO SEIKATSU  
welfare foundation Activity Report





## お礼とご報告



皆様へ

日頃より、犬猫生活福祉財団の活動をご支援いただき誠にありがとうございます。

当財団は、殺処分ゼロをはじめとした日本全体の動物福祉向上を目指し、  
2021年8月に設立いたしました。

年々減少しつつある殺処分数ですが、本気でゼロを目指す上で組織として何を行うべきか、  
事業内容を定め、各専門家に協力を仰ぎながら活動を推進してきた1年間でした。

初年度から多くの事業を行うことができましたのは、  
他でもなくこうして支えて下さったサポーターの皆様、ボランティアの方々、  
そしていつも応援いただいている方々のお陰です。

改めて心より御礼申し上げますとともに、初年度の活動を感謝を込めてご報告いたします。

一般財団法人 犬猫生活福祉財団

代表理事 佐藤 淳

# わたしたちが目指す未来。

## すべての犬猫と、その家族が 幸せに生きられる社会を創る。

まだ、日本ではたくさんの犬猫が過酷な生活を送っています。そんな 子たちに「生まれてきてよかったね」と言える社会を目指し活動します。

### 犬猫の福祉環境に関する 3つの課題。

#### 01. 収容の問題

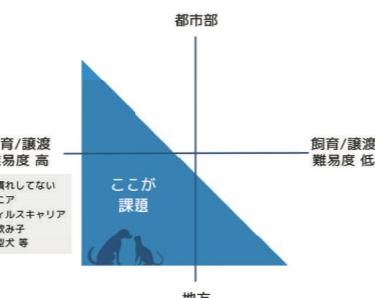
殺処分問題を考えるにあたり、まず考えなくてはいけないのは収容に関する問題です。右図の通り、収容の元を改善しない限り、受け皿である愛護センターや保護団体への負担がいつまでも減らない状況となります。



#### 02. 殺処分の問題

環境省の発表では、2021年の殺処分数は犬4,059頭、猫19,705頭の計23,764頭。年々改善傾向にあるものの、いまだ1日あたり65頭と多くの犬・猫の殺処分が行われています。

今後は収容数を減らすことで、長期的に根本から解決をしていくことが期待されますが、それまでの間、そして改善後も一程度は出てしまう収容犬猫に対して、殺処分を回避するためのセイフティーネットが必要となります。



#### 03. 不適切な飼育環境の問題

収容数や殺処分数がゼロになった場合にも、その上でそれぞれの犬猫が適正な福祉状態になければ動物たちが幸せにならなかったとはいわず、全ての犬猫が適切な福祉状態にあることが最終的なゴールとなります。

##### 家庭での飼育環境

虐待やネグレクトなどの問題や、社会的な孤立化が進む中で、多頭飼育崩壊の問題も増えています。こうした問題は、飼育者自身に社会的な支援が必要な場合もあるため、飼育者以外も含めて認知を広げ、早期発見や通報と支援/対応体制を作る必要があります。



##### 万一に備えての対応

近年、防災への意識は高まっていますが、一方で犬猫に対しての避難方法や災害に対する必要な備えなどは、まだまだ知っている人が少ない状況です。まずは一人一人が知識を得て必要な準備をすることで、ベースとなる自助と互助が出来るようになる必要があります。



##### 業者での福祉環境

新たに数値規制など法的な整備も進んでいますが、問題の根本には消費者の幼齢/可愛さへの要求やブリーディングや飼育環境への知識不足からくる無関心があると考え、消費者の意識を変えることこそが業者の適正化を促す近道と考えます。



### 不幸な命を増やさないために、目指すのは 3つのゼロ。

#### 収容



#### 殺処分



#### 不適切 飼育環境



みんなで協力し、みんなで支えることで、これらを実現します。

動物福祉に対する意識の向上や活動の広がりによって、この10年で大きく収容数や殺処分数は減ってきました。

しかし地方ではまだ野良犬猫の繁殖や、保護施設の受け皿数の不足、そして都市部でもシニアや特定の病気やハンデを持った子の譲渡が中々進まないなど、一筋縄ではいかない難しい問題が残っています。

また、現在は一部の活動家へ負担が集中しており、無理なく確実に活動を継続していくためには、より多くの人が関心を持ち、負担の分担を行っていくべきです。

私たちは、そうした問題に対し積極的にアプローチを行うと共に、より多くの人が動物福祉に対しての興味関心を持ち、活動に参加する流れをつくることで、継続的に3つのゼロ達成を目指します。



#### すべての犬猫が幸せに暮らす未来へ向け本気の取り組み。

これらの大きな社会課題にどのようにして挑み、達成に向けて活動するのか、取り組みとその結果を段階ごとに表した「ロジックモデル」を作成しています。  
次ページから3つのゼロへ向けた各ロジックモデルと、初年度の活動をご報告いたします。

# 01. 収容ゼロを目指して

## 【収容ゼロを達成するためのロジックモデル】

活動と結果（2023年度）	初期成果（2023年度末）	中期成果（2026年度）	長期成果（2030年）
●スペイクリニック運営 ・2022年3月 「犬猫タウン前橋病院」開院 ・2022年6月 一般からのTNR受付を開始	<p>（人） ・前橋で地域猫活動を行う方が安心して不妊去勢手術を受けられるようになっている ・地域の野良猫が不妊去勢手術を受け地域猫となり、寿命を全うできるようになっている ・TNRに取り組む自治体が増え、地域の犬猫問題が解決されるようになっている （犬猫） ・ロードキルや野良猫の収容数が減っている ・虐待や迫害される犬猫が減り、地域で安心して暮らせるようになっている （その他） ・前橋モデルを3施設以上で展開している</p>	<p>（人） ・TNRや地域猫の考えが田舎も含む日本全国で当たり前のことになっている ・地域猫活動へ参加する人が増え、地域猫活動を通じて温かい地域住民の連携が生まれている ・獣医師が「前橋モデル」のノウハウと資金提供を受け開業することで対応病院が増え、全国でスムーズにTNRを実施できるようになっている</p>	<p>（人） ・前橋で地域猫活動を行う方が安心して不妊去勢手術を受けられるようになっている ・地域の野良猫が不妊去勢手術を受け地域猫となり、寿命を全うできるようになっている ・TNRに取り組む自治体が増え、地域の犬猫問題が解決されるようになっている （犬猫） ・ロードキルや野良猫の収容数が減っている ・虐待や迫害される犬猫が減り、地域で安心して暮らせるようになっている （その他） ・前橋モデルを3施設以上で展開している</p>
●適正飼育に関する啓発活動 ・財団公式HPでの発信 ・各種SNSでの情報発信（SNS総合フォロワー数35万人）（Twitter、Instagram、LINE、FB） ・里親募集/TNRに関するポスター作成と配布 ・シェルター見学会の開催 ・啓発イベントの開催	<p>（人） ・犬猫問題について情報を気軽に知ることができる ・気軽なイベントへの参加を通して、動物福祉を身近に感じられるようになる （振り返り方法） ・SNS数値分析（フォロワー数等） ・企画本数と各企画の数値分析（参加者数、メディア掲載数等） ・SNSでの動物福祉の意識調査アンケートの実施</p>	<p>（人） ・オンラインやリアルの場で、子供からシニアまで幅広い方が学び知識を得ることができます ・地方でも不妊去勢や室内飼いが当たりまえになり、望まない妊娠や脱走による迷子/事故などのトラブルを未然に防ぐことができる ・活動家の負担が減り、無理なく継続的に活動できるようになっている ・特定の品種を希望する場合、飼育環境を知った上で優良ブリーダーから迎え入れることが当たり前になっている ・優良ブリーダーを見分けられる知識を持っている （犬猫） ・終生飼養の考え方が一般的になり、飼い主都合で手放されることが減っている ・地域猫の考えが広まることで、外の子も安心して寿命を全うできるようになっている ・繁殖犬猫が、優良なブリーダーのもとで安心して一生を過ごせるようになっている</p>	<p>（人） ・オンラインやリアルの場で、子供からシニアまで幅広い方が学び知識を得ることができます ・地方でも不妊去勢や室内飼いが当たりまえになり、望まない妊娠や脱走による迷子/事故などのトラブルを未然に防ぐことができる ・活動家の負担が減り、無理なく継続的に活動できるようになっている ・特定の品種を希望する場合、飼育環境を知った上で優良ブリーダーから迎え入れることが当たり前になっている ・優良ブリーダーを見分けられる知識を持っている （犬猫） ・終生飼養の考え方が一般的になり、飼い主都合で手放されることが減っている ・地域猫の考えが広まることで、外の子も安心して寿命を全うできるようになっている ・繁殖犬猫が、優良なブリーダーのもとで安心して一生を過ごせるようになっている</p>
●地震災害など万一本の備えに関する啓発活動 ・具体的な企画検討のための調査、方針策定	<p>（人） ・SNSを通じて気軽な情報に触れ、考える機会を得られている ・自らの災害を想定して、具体的な対策を行えるようになっている （振り返り方法） ・企画アイデア数と実行数</p>	<p>（人） ・災害時の避難やその後の避難生活のための知識を持ち、必要な備えができる ・万一本の際に各地で共に助け合う体制ができている （犬猫） ・災害時に人間とともに安全が確保できることが当たり前になっている</p>	<p>（人） ・災害時の避難やその後の避難生活のための知識を持ち、必要な備えができる ・万一本の際に各地で共に助け合う体制ができている （犬猫） ・災害時に人間とともに安全が確保できることが当たり前になっている</p>

収容ゼロ

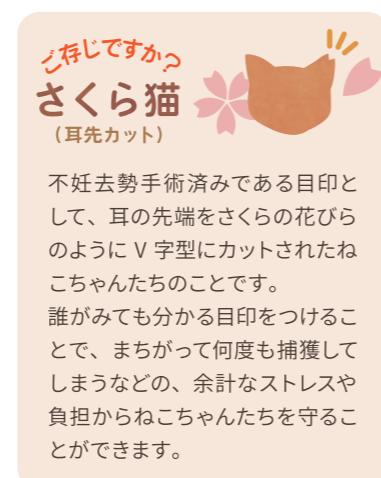
## TNR活動とは



TNRとは、飼い主のいない猫に対し、「Trap/捕獲し、Neuter/不妊去勢手術を行い、Return/元の場所に戻す」を実施することで繁殖を防ぎ、地域の猫として1代限りの命を全うさせ、野良猫に関わる苦情や殺処分の減少を目指す活動です。

### なぜTNR活動が必要なの?

ねこちゃんの過剰繁殖を防ぎ、殺処分を減らすためです。ねこちゃんは繁殖力の強い動物のため、生後間もない子ねこがいまだ多く殺処分されています。生まれてすぐなくなる命を生み出さないために、頭数コントロールは非常に重要な活動となります。



不妊去勢手術済みである目印として、耳の先端をさくらの花びらのようにV字型にカットされたねこちゃんたちのことです。誰が見ても分かる目印をつけることで、まちがって何度も捕獲してしまうなどの、余計なストレスや負担からねこちゃんたちを守ることができます。

## 【不妊去勢専門病院「犬猫タウン前橋病院」開院】



野良猫の不妊去勢を担う病院が少ない地域にてスペイクリニックの設立と運営を実施していくため、群馬県前橋市に第一号となる「犬猫タウン前橋病院」を開院しました。



●病院内(手術中)

●手術車

### ※スペイクリニックとは

犬猫の去勢・不妊手術に特化した動物病院のことです。

### 2022年3月～11月までの手術実績

合計 327頭

(不妊手術192頭 去勢手術135頭)

- 3月の開院から、運営体制を整えつつ徐々に1日あたりの手術頭数を増やしています。
- 10月は月間80頭の手術を実施いたしました。

2023年7月までに、  
月150頭(年間1800頭)体制を目指します。

### 監修いただいている にじのはスペイクリニック 高橋 葵先生の思い

にじのはスペイクリニックは、不妊去勢手術によって過繁殖状態の猫の数を適正にすることで「猫がしあわせに(過酷な暮らしをする猫がないこと)、人がおだやかに(猫の繁殖による環境被害や多頭飼育等に困る人がいないこと)暮らせる社会」が実現することを目指して活動しています。

このような「人と猫が共生する社会」の実現のために不可欠な活動が「TNR活動」です。過剰な状態の猫を、不妊去勢手術をすることでそれ以上増えないようにする、まさに根本原因にアプローチする活動であり、未来を変えるための活動です。

私たちはこれまでに、拠点である岐阜県を中心に移動式手術室を駆使しながら「必要な時に、必要な場所へスペイクリニックをお届けします」という活動理念のもと、動物病院の無い多くの地域に年間3千匹を超える手術を届けてきました。



●高橋 葵先生

財団様の所有するシェルターにもこの移動式手術室を導入していただきましたが、移動式手術室の可能性は無限です。猫の過剰繁殖が問題になっている住宅地に、山間地に、農村に、必要な不妊去勢手術を届け、必ずや問題解決に繋げてくれるでしょう。

# 02. 殺処分ゼロを目指して

## 殺処分ゼロを達成するためのロジックモデル

活動と結果（2023年度）	初期成果（2023年度末）	中期成果（2026年度）	長期成果(2030年)
<p>●譲渡数に応じた助成金の提供による譲渡促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2022年5月 助成金提供</li> <li>助成数10団体×20万円</li> </ul>	<p>助成金を活用し、継続的かつ意欲的に活動できる団体が増えている</p> <p>保護や譲渡が促進され、幸せな犬猫が増えている</p> <p>(振り返り方法)</p> <p>助成団体からの報告書による定性評価</p> <p>助成団体の総譲渡数</p>	<p>(人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全国で譲渡会の開催数と参加者が増えている</li> <li>譲渡が難しい属性にあるような子も含め、より多くの犬猫を譲渡できるようになっている</li> <li>(犬猫)</li> <li>殺処分の心配なく、里親さんを待ちながら団体のもとで安心して暮らせるようになっている</li> </ul>	
<p>●ボランティア求人サイト運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2022年8月29日ローンチ</li> <li>お仕事登録目標100件（登録団体目標50団体）</li> <li>応募目標300人</li> </ul>	<p>ボランティアに参加したいと思った人が適切な情報をアクセスし、参加しやすくなっている</p> <p>愛護団体が、サイトを通じて質の高いボランティアを採用し人材不足を軽減できている</p> <p>(振り返り方法)</p> <p>Googleアナリティクスデータ分析</p> <p>利用団体アンケート</p>	<p>(人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア教育制度があり、参加する人が知識を得て質の高い活動ができるようになっている</li> <li>ボランティア文化が当たり前になり、ライフワークとして取り組む人が増えている</li> <li>活動家一人当たりのお金や時間の負担が減り、無理なく安く継続的な活動ができる</li> <li>(犬猫)</li> <li>保護される犬猫が増えている</li> <li>活動家のもので十分なお世話を受けながら、肉体的・精神的ストレスが少なく過ごすことができている</li> </ul>	
<p>●シェルターの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2022年1月「犬猫タウン前橋」設立、前橋市保健所より犬猫の引き出しを開始</li> <li>2022年5月 シェルター初の譲渡（犬）</li> <li>フォスターの育成目標10人（うち5名はミルク対応可）</li> </ul>	<p>群馬県で保護犬猫を家族に迎える家庭が増えている</p> <p>前橋市でフォスターとして活躍する人が増えている</p> <p>前橋市保健所で不必要的殺処分がなくなっている</p> <p>前橋モデルを確立している</p> <p>(振り返り方法)</p> <p>引き出し、譲渡頭数</p> <p>前橋市保健所へのヒアリング</p>	<p>(人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「前橋モデル」のフォスター育成制度と管理方法が共有され、各地で保護活動に参加し、継続的にいきいきと活躍する人が増えている</li> <li>フォスターが活躍する地域で、保護犬猫を家族に迎え幸せに暮らす家庭が増えている</li> <li>(犬猫)</li> <li>安心、安全な環境で新しい家族を待ちながら暮らすことができている</li> <li>扱いの難しい子も含めて殺処分がなくなっている（シニア・キャリア持ち・人慣れしていない・乳飲み子など）</li> <li>(その他)</li> <li>前橋モデルを3施設以上で展開している</li> </ul>	

殺処分ゼロ

## 保護シェルター「犬猫タウン前橋」設立



保護団体数の足りない地方にて、フォスター利用を中心としたシェルターの成功モデルを作り、全国に展開することを目標に、1施設目を群馬県前橋市に設立しました。

また、フォスターの育成や管理体制構築のためのノウハウをマニュアル化し、他団体へも広くノウハウやツールを解放していくことを目指しています。そのため、前橋市のシェルターでは動物看護師などプロフェッショナルな人材を含む組織として持続可能な運営体制を検証しながら活動を行なっています。

シニアやキャリア持ちの子も積極的に迎えて彼らの情報発信をしたり、ドッグトレーナーの指導のもと、人慣れしていない犬など、扱いが難しい子の対応も可能にするべく活動しています。

にゃんこ村&子猫部屋




わんこ村&ドックラン




検疫室



トリミングスペース



2022年1月～11月までの保護実績

累計引き出し数

**猫:61頭 犬:9頭**

・譲渡活動は4月からスタートしています。

・初期は運用のフローなどを固めながら慎重にスタートしたため少数ですが、12月は10頭以上の見込みなど着実に増えてきています。

譲渡数

**猫:29頭 犬:6頭**

2023年7月までに犬猫合わせて月20頭(年間240頭)の譲渡体制を目指します。



## ずっとのお家で幸せになりました!

にゃんこ村から初の卒業生!  
大福くん正式譲渡へ

▼ファーで明るい大福くん。本当におめでとう!



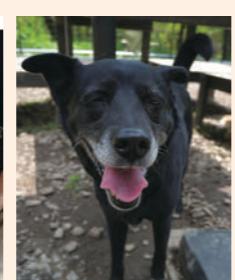
元飼い主さんの所有権放棄により、保健所に収容された大福くん。

大福くんは、陽気で明るくマイペース、遊ぶのが大好きな男の子で、ユニークな寝相や動きで、スタッフを笑わせてくれる愛らしい子でした。ただ、猫同士の遊び方がわからず、にゃんこ村では他の猫を追いかけてしまったり、甘噛みができずに噛んでしまったり…。そこで、預かりボランティアさんのおうちで愛情をかけてもらいつつのんびりと過ごしながら、新しい家族との出会いを待つことになりました。預かりボランティアさんは、猫と一緒に暮らすのは初めてだったそうですが、脱走対策など準備を万全にして、大福くんにしっかり愛情を注いで下さいました。そして今回、転勤をきっかけに「大福くんと離れることなんてできない!」と、そのまま大福くんをおうちの子としてお迎えいただくことに! 大福くんは、もうすでに家族の一員気分でのびのび過ごしていたので、「どうしたの?」という感じかもしれません、とっても嬉しい卒業となりました。

ちょび



もづく



メイ&ルナ



茶太郎



いちご



盲目でエイズキャリアのちょびくんは、甘えん坊で人が大好き。里親さんは、キャリアの子の飼育経験もあり、是非家族にと申し出て下さいました。「責任をもってちょびを幸せにします。」と仰っていたこと、本当に嬉しかったです。ちょびを見つけてくださって本当にありがとうございました!

お手もおすわりも最初から出来て、とってもいいこだったもづく。写真を見返すと、いつもニコニコ嬉しそうなもづくの写真ばかりで、その笑顔に私は癒され、頑張ろうと力を貢献していました。そして、その笑顔に惹かれてもづくの面会にきて下さった里親様。「もづくに会って、もっともづくの事が好きになった」と話してくれたこと、とても嬉しかったです。もづくと里親様のこれから的生活に、たくさんの笑いと幸せが更に増えますように、心から願っています。

生後2週間で犬猫タウンにやってきて、ミルクボランティアさんの手で美味しいミルクとたくさん愛情で大きくなったメイ&ルナ。とても仲良しな2匹は、同じおうちでこれからも暮らしていくことに決まりました! 一人遊びで走り回っているルナと、怒られたりルナだけ可愛がってると鳴きながらスリスリしてくるあざとさ全開のメイで、毎日元気よく遊んでいると聞いて、スタッフみんな安心しています。2匹一緒に家族の一員にして下さった事に、心から感謝しております。

もふもふの茶毛と、ぶりぶりの尻尾、そしてその人懐っこさでみんなに愛されていた茶太郎。とにかく甘えん坊でかわいい子でしたが、ご飯の時はご飯を取られまいとすごい形相で怒り、お口がでてしまう事があるので、ずっとのおうちは難しいのかもと思っていました。里親様はそんな茶太郎の性格などを説明した上で、それでも迷いなく茶太郎を家族に迎えることを決めてくださいました。今はずっとのおうちで、家族みんなで仲良く暮らしているようです。茶太郎、卒業おめでとう!

保護猫第1号で、そのコロンとしたフォルムと愛しいお顔でにゃんこ村のアイドルだったいちご。最初はのびのび暮らしていたものの、沢山の仔猫がやってくるようになると段ボールの中に隠れる事が多くなりました。トライアル中はいちごが先住猫さんを威嚇してしまって、先住猫さんがご飯を食べなくなってしまったり、距離が縮まらなかつたそう。それでも焦らずゆっくり見守りたい、といちごに寄り添ってくださいました。いちごはいちごという名前のまま、たくさんの愛情を貰ってずっとのおうちで幸せに暮らしています。

**里親さま募集中!** <https://inuneko-fukushi.or.jp/onegai/satooya/>

犬猫タウン前橋では、さまざまな理由により保護されたわんちゃんねこちゃんが暮らしています。こちらから募集中のわんにゃんをぜひご覧ください!



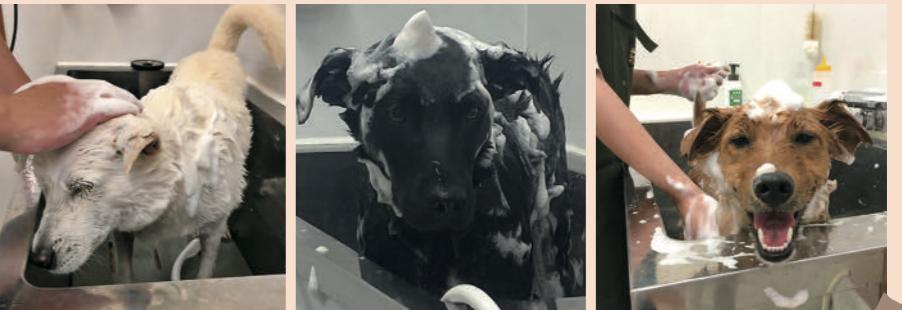
# レポート Report

## ボランティアさん、いつもありがとうございます

日々のお散歩やお掃除をはじめ、トリミングや預かりボランティアさま、チラシやWebデザインなど、たくさんのボランティア様にご協力いただき活動を推進することができています。

### Let's shampoo!

わんちゃんの清潔を保つトリミングも、ボランティアさまのご協力で定期的に実施できています。正式譲渡が決まった子が里親さまのお家へ行く前にも綺麗にして送り出してくださいています。



### ミルクボランティアさまも活躍中!!

処分数のうち多くの割合を占める子猫たち。ミルクボランティアさまの愛情たっぷりのお世話により、小さな命を里親様へ繋ぐことができています。



こんなにかわいく劇的!? Before → After なりました♥



Before



After



Before



After

ミルクボランティアさまへのインタビューを記事にいたしました!

こちらからお読みいただけます。

<https://inuneko-fukushi.or.jp/3207/>



# 他団体支援事業

## 第一回助成金を実施しました

保護活動を行っている10団体に総額200万円の助成金をお渡しました。  
殺処分ゼロの実現、その先の動物福祉向上のためには、多くの方が協力しあうことが必要です。  
私たちは他団体へのサポートを通じてともに問題解決にあたることを目指します。  
こうした活動を行えるのも、みなさまからのご支援のおかげと改めて御礼申し上げます。  
今後も他団体サポートを交えながら、全国の動物福祉向上を目指し活動していきます。

## ボランティアサイト「犬猫ワークス」

ボランティアに参加したい人と団体さんをつなぐ専用の求人情報サイトです。  
殺処分ゼロを達成するためには、一部の活動家に負担が偏っている現状を変え、関わる人が増えることで負担を分けあい、継続的に活動できることが大切と考えています。  
日本でもボランティア文化が当たり前となれば、保護されるわんちゃんねこちゃんが増え、また保護環境の改善など動物福祉向上につながる、そんな未来を目指した取り組みです。

「犬猫ワークス」  
<https://inuneko-works.com/>

## 助成先団体一覧

### 一般社団法人 LOVE & Co. (神奈川県)

代表者:小川友美

2016年3月設立。LOVE & Co.は「保護猫がはたらく会社」。川崎市宮前区のオフィス兼シェルターで人間と猫と一緒に働いています。オンラインショップでのグッズ販売の収益が私たちの活動資金。猫たちにパッケージのモデルを務めてもらい、人間はデザインしたり、お裁縫したり粘土をこねくり回したりして商品を作っています。保護している猫たちはほとんどが人馴れしていない大人猫。個性的なキャラクターを増やし、売り上げには大いに貢献してくれていますが、譲渡が追いつかず。日本では子猫の人気が未だ圧倒的ですが、おじさん、おばさん猫の魅力をもっと知ってもらいたい!また、私たちだけでは助けられる猫はほんの少しです。大変なこともありますが、保護活動は楽しそう、やってみたい!と思う人を増やすことが目標です。

### 江東ねこの会 (東京都)

代表者:宮路孝一

江東区全域における不幸な猫を増やさない、減らす為のTNR不妊・去勢、術後猫養育、地域猫活動、適性譲渡、老猫問題、子猫養育、リハビリ、譲渡会参加を行なっています。2022/1から預かりボランティアを開始。これまで場所がなくお断り、リターンせざるを得なかった猫達も保護できる取り組みを始めました。2022/初夏に門前仲町で譲渡型のサロンを再オープンします。今回の支援は診療費、諸経費、新拠点の衛生器具と保護猫にまつわる様々な用途の為に大切に使用し、飼い主のいない猫たちを一匹でも少しでも幸せにできるよう第三者協働(住民・行政(保健所)、ボランティア)で活動し、共生できる町づくりを目指します。

### ねこしあぎふ (岐阜県)

代表者:吉田志子

人と猫や動物が共生し、お互いに快適な生活ができる社会を目指すことを目的としています。ネコとの共生のための相談ごとや、具体案の提案や実施を行い、えさやりさんたち自治会とコミュニケーションしながら、野良猫を増やさないよう、今いる猫たちが最大限に幸せに生きられるサポートを行なっています。TNRの重要性を理解してもらえるよう啓発活動と教育、実施を行なっています。仔猫たちは譲渡先を募集し里親をみつけています。昨年2021年7月より団体として活動し、まだまだ学びながらの活動です。他のボランティア団体とも協力して、行政との連携をしながら協力し合って活動できるよう準備を進めています。猫と人のために精一杯活動中です。

### NPO法人 ねこひげハウス (埼玉県)

代表者:石川砂美子

NPO法人ねこひげハウスは、埼玉県八潮市を中心に活動している保護猫団体です。2011年に多頭飼育崩壊寸前の一軒家の猫たちをお世話したことから始まります。現在、一軒家のシェルターに90頭以上の猫と犬2頭を保護しています。の中には、重度の病気や高齢のため、投薬治療や介護が必要な猫も多くいます。これからは、高齢の飼い主の病気や死去などにより飼い猫飼い犬が行き場を失う問題も増えていきます。私たちは、保護されにくい成猫やシニア猫、傷病猫などを保護・治療できるホームを作り、取り残される猫をなくしていきたいと考えます。

### ねこの命をつなぐ会 (長野県)

代表者:閔祐子

私たちは、平成23年に保護猫活動をするにあたり譲渡困難な成猫の受入れをメインとして長野市初の保護猫シェルターとして活動を始めました。約10年間で160匹受入、120匹譲渡、残念ながらシェルターで命を終えた猫は28匹、現在12匹を飼養しています。野良猫問題をはじめとして多頭飼育問題等、昨今は人間の都合で不幸になる猫が多いのが現実です。行政、ボランティア、地域住民との連携なくして問題解決には至りません。良好な人間関係の構築と共に猫たちが幸せになれるよう細く長く活動を続けていきたいと思います。この度の助成金も、皆様への感謝を忘れず、ご期待を裏切ることのないよう活動をいたします。

### むさしの地域猫の会 (東京都)

代表者:西村 麻衣子

むさしの地域猫の会は、2006年武蔵野市環境部と協働で地域猫活動を行うために発足した市民団体です。人と猫とが共生できる街を目指し、TNR活動と併せて保護・譲渡活動にも力を注ぎ、今では市内の猫の苦情や外で子猫がうまれることもほとんどなくなりました。そこで地域猫活動を進めつつ、動物愛護センターの譲渡団体に登録し、2021年度は子猫を中心100匹以上を引き出し譲渡しました。2022年度からは武蔵野市の環境部・福祉課との連携で、飼い主の入院や死亡等で行き場をなくした飼い猫の保護もはじめました。今後は、地元武蔵野市の猫たちを守りつつ、致死処分されてしまう命をなくすための保護・譲渡も積極的に進めていきたいと思います。

### NPO法人 青い鳥動物愛護会 (山口県)

代表者:清水 久仁子

当会は保健所で殺処分寸前の犬猫を保護し譲渡する活動を行なっています。多くの方に支えられながらこれまで延べ3000匹以上の犬猫を受け入れ、2600匹以上を譲渡しました。しかし保護しなくては猫は後を絶たしません。頂きましたお気持ちを胸に「防府市から一匹も殺処分場に送らない!」との決意で防府市殺処分ゼロ7年目に挑戦したいです。これからもご協力どうかよろしくお願ひします。

### NPO法人 くすのき (静岡県)

代表者:那須 美香

NPO法人くすのきは、2004年に静岡県熱海市において野良猫を減らすための活動として個人にて活動を開始し、4年後となる2008年に『熱海TNRの会』を設立いたしました。以降、TNR活動の傍ら捨て猫や負傷猫の保護・譲渡活動を行なない、より多くの保護猫達にご縁をとの思いから2019年4月に譲渡型保護猫ハウス『Temple Cat』をオープンし2021年4月に法人設立を行い地域への貢献活動に取組んでおります。1頭でも多くの不幸な命を減らす為、TNR活動を行ない人と動物が共生できる豊かなまちづくりを目指し、殺処分など必要な社会となるように貢献して参りたいと思います!

また、遺棄や多頭飼育崩壊等による行き場の無い猫達の保護・譲渡活動を行なう物言えぬ小さな命を明日へ繋げていきたいと思います。

### NPO法人 しあわせの種たち (岡山県)

代表者:濱田 一江

当会は岡山県動物愛護センターの譲渡事業と協働し譲渡できる犬猫たちは譲渡に繋げ、極度に人馴れしていない、威嚇、咬み、破壊行動などの問題行動があり「殺処分対象」とされた犬猫を積極的に保護することで「殺処分」を目指しています。今後の活動として、地元の動物愛護団体間の協力体制や啓発活動の強化を図るために、合同譲渡会を開催します。また、飼い主の都合で棄てられるベットを収容される前に守れる仕組みをつくりたいと考えています。言葉を持たない命たちが私たちに教えてくれることが多くあります。その全ての命たちが愛され尊ばれ、幸せの笑顔が花咲く世界になることを願い、これからも目の前の命に真摯にむかいで活動してまいります。

### 神栖わんにゃんレスキューOHANA (茨城県)

代表者:松本 恵美

神栖わんにゃんレスキューOHANAは、アグリドッグレスキューで10年以上預かりをしている「海ママ」が2021年11月に立ち上げた地域密着型の団体です。メンバーは26名、年齢や性別は様々で個性豊かですが、全員の共通点は犬猫への「愛」です。一人一人の力は小さくても皆で力を合わせれば多くの犬猫を救い幸せに出来ると信じて日々活動しています。私たちの活動拠点である茨城県神栖市は、センターへの犬猫収容頭数が多く県内でワーストNo.1です。保護活動を行なっているとあまりにも過酷な環境にいる野良犬猫を目の当たりにしています。犬猫も私たち同様、命があり心があります。最低限の犬猫人生を送れない子達を一頭でも多く救い、人の温かい手のぬくもりや愛情深い心、そして家族の一員として愛されるべくして生まれて来ただんだと感じられるような犬猫人生を送ってもらう事を目標とし、神栖市の野良犬猫ゼロを目指します。大きな目標ではありますが、地域の方々や行政と協力し合いながら目標に近づけるように精進して参ります。

# 03. 不適切飼育環境ゼロを目指して

## 不適切飼育環境ゼロを達成するためのロジックモデル

活動と結果（2023年度）	初期成果（2023年度末）	中期成果（2026年度）	長期成果（2030年）
<ul style="list-style-type: none"><li>●多頭飼育崩壊へのサポート<ul style="list-style-type: none"><li>・多頭飼育現場への出張TNR、保護活動</li></ul></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・前橋市と連携して多頭飼育崩壊現場のサポートを実行</li><li>(振り返り方法)<ul style="list-style-type: none"><li>・一斉TNR回数と手術頭数</li><li>・一斉TNR中心人物へのヒアリング</li><li>・前橋市へのヒアリング</li></ul></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>(人)<ul style="list-style-type: none"><li>・多頭飼育崩壊を解決するための自治体を含めたネットワークや仕組み/ノウハウが出来ている</li><li>・問題の早期発見&amp;対応ができる自治体が増えている</li><li>・多頭飼育崩壊を未然に防ぐためのサポートが受けられるようになっている</li></ul></li><li>(犬猫)<ul style="list-style-type: none"><li>・多頭飼育崩壊、ネグレクトなどの虐待を受けることが減っている</li></ul></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>(人)<ul style="list-style-type: none"><li>・多頭飼育崩壊を解決するための自治体を含めたネットワークや仕組み/ノウハウが出来ている</li><li>・問題の早期発見&amp;対応ができる自治体が増えている</li><li>・多頭飼育崩壊を未然に防ぐためのサポートが受けられるようになっている</li></ul></li><li>(犬猫)<ul style="list-style-type: none"><li>・多頭飼育崩壊、ネグレクトなどの虐待を受けることが減っている</li></ul></li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>●適正飼育に関する啓発活動<ul style="list-style-type: none"><li>・財団公式HPでの発信</li><li>・各種SNSでの情報発信(SNS総合フォロワー数35万人)(Twitter、Instagram、LINE、FB)</li><li>・里親募集/TNRに関するスター作成と配布</li><li>・シェルター見学会の開催</li><li>・啓発イベントの開催</li></ul></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・犬猫問題について情報を気軽に知ることができる</li><li>・気軽なイベントへの参加を通して、動物福祉を身近に感じられるようになる</li><li>(振り返り方法)<ul style="list-style-type: none"><li>・SNS数値分析(フォロワー数等)</li><li>・企画本数と各企画の数値分析(参加者数、メディア掲載数等)</li><li>・SNSでの動物福祉の意識調査アンケートの実施</li></ul></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>(人)<ul style="list-style-type: none"><li>・オンラインやリアルの場で、子供からシニアまで幅広い方が学び知識を得ることができる</li><li>・地方でも不妊去勢や室内飼いが当たりまえになり、望まない妊娠や脱走による迷子/事故などのトラブルを未然に防ぐことができる</li><li>・活動家の負担が減り、無理なく継続的に活動できるようになっている</li><li>・特定の品種を希望する場合、飼育環境を知った上で優良ブリーダーから迎え入れることが当たり前になっている</li><li>・優良ブリーダーを見分けられる知識を持っている</li></ul></li><li>(犬猫)<ul style="list-style-type: none"><li>・終生飼養の考え方方が一般的になり、飼い主都合で手放されることが減っている</li><li>・地域猫の考えが広まることで、外の子も安心して寿命を全うできるようになっている</li><li>・繁殖犬猫が、優良なブリーダーのもとで安心して一生を過ごせるようになっている</li></ul></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>(人)<ul style="list-style-type: none"><li>・オンラインやリアルの場で、子供からシニアまで幅広い方が学び知識を得ることができる</li><li>・地方でも不妊去勢や室内飼いが当たりまえになり、望まない妊娠や脱走による迷子/事故などのトラブルを未然に防ぐことができる</li><li>・活動家の負担が減り、無理なく継続的に活動できるようになっている</li><li>・特定の品種を希望する場合、飼育環境を知った上で優良ブリーダーから迎え入れることが当たり前になっている</li><li>・優良ブリーダーを見分けられる知識を持っている</li></ul></li><li>(犬猫)<ul style="list-style-type: none"><li>・終生飼養の考え方方が一般的になり、飼い主都合で手放されることが減っている</li><li>・地域猫の考えが広まることで、外の子も安心して寿命を全うできるようになっている</li><li>・繁殖犬猫が、優良なブリーダーのもとで安心して一生を過ごせるようになっている</li></ul></li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>●地震災害など万への備えに関する啓発活動<ul style="list-style-type: none"><li>・具体的な企画検討のための調査、方針策定</li></ul></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・SNSを通じて気軽な情報に触れ、考える機会を得られている</li><li>・自らの災害を想定して、具体的に対策を行えるようになっている</li><li>(振り返り方法)<ul style="list-style-type: none"><li>・企画アイデア数と実行数</li></ul></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>(人)<ul style="list-style-type: none"><li>・災害時の避難やその後の避難生活のための知識を持ち、必要な備えができる</li><li>・万の際に各地で共に助け合う体制ができている</li></ul></li><li>(犬猫)<ul style="list-style-type: none"><li>・災害時に人間とともに安全が確保できることが当たり前になっている</li></ul></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>(人)<ul style="list-style-type: none"><li>・災害時の避難やその後の避難生活のための知識を持ち、必要な備えができる</li><li>・万の際に各地で共に助け合う体制ができている</li></ul></li><li>(犬猫)<ul style="list-style-type: none"><li>・災害時に人間とともに安全が確保できることが当たり前になっている</li></ul></li></ul>

不適切飼育環境ゼロ

## まずは地域との関係作り、野良猫の一斉TNRから

多頭飼育崩壊を未然に防ぐため、まずは地域の皆さまと情報交換できるよう「前橋地域づくり連絡会」様と連携したセミナーの開催や、地域の活動家様とともに野良猫の一斉TNRに取り組んでいます。今後は多頭飼育崩壊の不妊去勢手術や一次保護の受け皿になることで解決の一端を担えるようになることが目標です。

### 手術設備を完備した移動式手術室

猫の過剰繁殖が問題になっている住宅地等、必要な場所へ出向いて一斉に不妊去勢手術を行う活動を行なっています。



今後は、自治会や福祉関連の窓口とのコミュニケーションを  
しっかり取りながら、  
社会福祉と動物福祉の連携を進めていくことが目標です。

## 多頭飼育崩壊とは？

飼い主が不妊・去勢手術などの適切な処置を行わず、無秩序に増え続けてしまった結果、適正飼育できる頭数を超え、公衆衛生の問題や、不適切な環境での飼育、動物福祉の問題が生じる状態を多頭飼育崩壊と呼びます。



# 多数のメディアに掲載いただきました

## ■新聞

### ■上毛新聞



## ■朝日ぐんま

▼ 2022年9月16日掲載「前橋市内に初犬猫タウン前橋 病院併設シェルター」



## ■テレビ

■ NHK

■ 群馬テレビ

## ■ラジオ

■ FMぐんま **fm gunma** 86.3

■ まえばしシティエフエム

## ■ webニュース・その他

### ■ 前橋新聞mebuku

The website header reads "mebuku" and "study 学びたい". A news article headline says "犬猫タウン前橋 ネコの譲渡会を 8月18日、27日に開催". The main image shows a ginger cat in a green Elizabethan collar.

日経BP/毎日新聞/産経新聞/東京新聞/PETomorrow/  
ニコニコニュース/グノシー/Ameba News 他、掲載多数

# 会計報告

## 正味財産増減計算書 令和3年9月1日から令和4年7月31日まで 一般財団法人大猫生活福祉財団

(単位：円)

科 目	当年度
<b>I 一般正味財産増減の部</b>	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
受取会費	3,599,500
サポーター会員受取会費	3,599,500
事業収益	814,940
犬猫譲渡収益	275,000
スペイクリニック運営収益	539,940
受取寄付金	48,450,012
受取寄付金	48,383,129
法人寄付	47,848,425
個人寄付	534,704
受取寄付金振替額	66,883
雑収益	138,689
受取利息	32
雑収益	138,657
経常収益計	53,003,141
(2) 経常費用	
事業費	37,294,004
給料手当	12,430,182
出向負担金	4,198,517
法定福利費	1,719,294
福利厚生費	25,470
研修費	3,800
会議費	35,900
旅費交通費	1,450,860
通信運搬費	218,499
減価償却費	1,862,546
消耗品費	6,492,655
修繕費	510,500
広告宣伝費	192,506
地代家賃	2,744,087
光熱水料費	970,630
新聞図書費	880
保険料	400,820
交際費	26,496
租税公課	18,500
支払手数料	453,820
支払助成金	2,000,000
外注費	1,437,000
雑費	101,042
管理費	12,398,473
役員報酬	540,000
出向負担金	6,297,776
法定福利費	12,531
会議費	5,113
旅費交通費	97,034

(単位：円)

通信運搬費	70,949
減価償却費	32,963
消耗品費	218,630
広告宣伝費	254,279
地代家賃	490,618
光熱水料費	48,886
新聞図書費	1,650
交際費	7,980
租税公課	115,000
支払報酬	2,557,500
支払手数料	371,012
外注費	1,256,200
雑費	20,352
経常費用計	49,692,477
評価損益等調整前当期経常増減額	3,310,664
評価損益等計	0
当期経常増減額	3,310,664
<b>2. 経常外増減の部</b>	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
税引前当期一般正味財産増減額	3,310,664
法人税、住民税及び事業税	104,800
当期一般正味財産増減額	3,205,864
一般正味財産期首残高	0
一般正味財産期末残高	3,205,864
<b>II 指定正味財産増減の部</b>	
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	0
指定正味財産期末残高	0
<b>III 基金増減の部</b>	
当期基金増減額	0
基金期首残高	0
基金期末残高	0
<b>IV 正味財産期末残高</b>	3,205,864

## 貸借対照表 令和4年7月31日現在 一般財団法人大猫生活福祉財団

(単位：円)

科 目	当年度
<b>I 資産の部</b>	
1. 流動資産	
現金預金	4,767,446
貯蔵品	108,146
前払費用	265,863
預け金	7,860
流動資産合計	5,149,315
2. 固定資産	
(3)その他固定資産	
建物附属設備	4,912,672
構築物	1,066,452
車両運搬具	4,951,569
什器備品	215,451
一括償却資産	1,156,168
ソフトウェア	1,878,312
敷金	300,000
その他固定資産合計	14,480,624
固定資産合計	14,480,624
資産合計	19,629,939
<b>II 負債の部</b>	
1. 流動負債	
未払費用	15,765,672
預り金	553,603
未払法人税等	104,800
流動負債合計	16,424,075
負債合計	16,424,075
<b>III 正味財産の部</b>	
1. 基金	
基金	0
2. 指定正味財産	
指定正味財産合計	0
3. 一般正味財産	
(1)代替基金	0
(2)その他一般正味財産	3,205,864
一般正味財産合計	3,205,864
正味財産合計	3,205,864
負債及び正味財産合計	19,629,939